

全校

●避難訓練（学校行事1）1学期

特別活動／地震による火災の発生（八幡西消防署来校）

ねらい：避難訓練前に地震と火事についての基本的な知識を身に付けるとともに、実際の災害場面を想定した避難訓練を通して安全な避難の仕方と避難経路を理解する。

八幡西消防署を講師に



地震のあと、火事がおこる原因と仕組み、その火災から身を守る方法を学びました。



身を守る3つの基本行動①DROP（まず低く）COVER（頭を守り）HOLDON（動かない）

命の尊さを感じながら



関東大震災時に亡くなった児童を悼み作られた12名の子どもの銅像

地震と火事から身を守る / 学校行事（1時間）

地震の怖さとその後の火災の怖さを学ぶ

地震発生後の火災を想定して避難訓練を行いました。この日は、八幡西消防署の方をお招きして、火災が起きる原因や仕組み、その怖さについてお話をいただきました。地震は、気象災害と違い、いつ起きるか予測できないので、備えることが難しい。だからこそしっかりと備え、いざという時にすぐに避難できるようにすることが大切であると話されていました。また、火事が起きた時は、煙が危険であることから、煙を吸い込まないように低い姿勢で避難すること、すぐに消火するために「119番」に助けを求めることなどを教えていただきました。

そして、講話の後に実際に地震後の火事を想定した避難訓練を行い、運動場に避難しました。地震から、身を守った後に、避難経路を確認し、「お」おさない「は」走らない「し」しゃべらない「も」もどらない「お・は・し・も」の約束を守りながら運動場にすばやく避難をしました。避難後には、避難の約束を守り、安全に避難できたことを八幡西消防署の方にほめていただきました。誰一人取り残さず安全に避難する方法をしっかりと学べた避難訓練でした。

シェイクアウト訓練（9月1日防災の日） / 学校行事

その時にいる場所で、とっさに身を守る

9月1日は「防災の日」です。始業式が行われた8月26日に全校で「シェイクアウト訓練」を行いました。「その時にいる場所」で地震が発生した時にとっさに身を守るという地震に備えた一斉訓練です。身を守る3つの基本行動①DROP（まず低く）COVER（頭を守り）HOLDON（動かない）を地震の放送とともに実施し、自分の身を守る訓練を行いました。

訓練導入では、1923年9月1日の関東大震災時の遭難児童や亡くなった児童を悼み作られた銅像12名の子どもの気持ちを想像しながら、シェイクアウト訓練に取り組みました。

全体

●避難訓練（学校行事1）2学期

特別活動／風水害による水害の発生（危機管理室より来校）

ねらい：避難訓練前に風水害による災害についての基本的な知識を身に付けるとともに、実際の災害場面を想定した避難訓練を通して安全な避難の仕方と避難経路を理解する。

災害時に備えたほうがいいものを学ぶ

風水害から身を守る／学校行事1時間

いつ、どのように避難するのか、家族と確認をしましょう。

2学期の避難訓練が9月7日に行われました。今回は、風水害についての避難訓練でした。新型コロナウイルス感染拡大のため、テレビ放送を使って、学習を進めました。

今回の避難訓練には、危機管理室より3名の職員の方に来校していただき、台風や大雨時の風水害についてお話をしてくださいました。避難レベルを基にどのタイミングで避難するとよいかや実際に避難する時のポイントなどを教えていただきました。また、学習活動として、「家に備えておくとい防災グッズ」についてワークシートを使って考えていきました。考えた後、危機管理室の方が、備えておくとい防災グッズを一つ一つ丁寧に説明をしてくださいました。子どもたちは、「ぼくの家にも、これは準備しているよ。」「これは、準備していなかった。」「非常食は、何人分あるかわからないな。」「水が一人1日3リットルも必要だなんて知らなかった。」など自宅にある防災グッズを思い浮かべながら、考えている児童も見られました。その学習後、風水害時の集団下校訓練の確認を行いました。

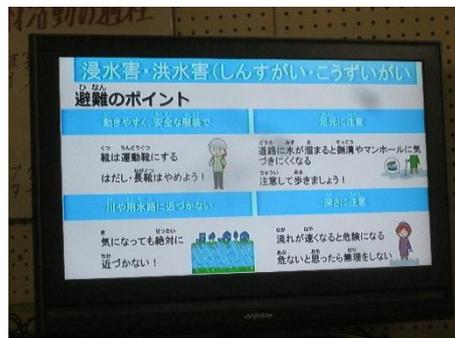
非常時、自分はどのグループで帰宅するのかの確認をしました。名札に下校方面のシールを見ながら、思い出す児童も見られました。

「今日の避難訓練をもとに、お家の人も災害時、どのように避難するのか、何を持ち出すのかなどを話し合っておくといいいですね。」と危機管理室の方がおっしゃっていました。

子どもたちは、その話をうなずきながら真剣に聞く様子が見られました。



避難レベル5は、避難が完了していることなので、その前に避難することが大事です。



避難のポイントは、危険を回避しながら安全に避難します。避難場所は、避難所だけでなくことも教えてくださいました。



全校

光貞小 いのちの学習 (学校行事) 3 学期～

自分たちのまち・市の危険を知り、防災・減災について発信する～

●総合的な学習の時間／単元名「光貞小防災・減災プログラム」関連

ねらい：自分たち、地域の防災意識に関する課題を見つけ、課題解決に向けて積極的に働きかけ思考・判断・発信をすることを通して郷土への愛着を深めながら、災害に立ち向かうとする態度を育てる。

災害に備える



災害に備える取組や災害発生時の行動、避難所での過ごし方など全児童に向けて災害に向けての正しい知識、備えの大切さを伝えてくれました。



いのちの学習 (学校行事 1 時間)

防災・減災プロジェクト学習発表

6年生では、総合的な学習の時間「防災・減災プログラム」で子ども達が、災害について学び、調べてきたことを班ごとにプレゼンにまとめてきました。この学びを発信する場として「いのちの学習」(9/30)と「防災減災学習発表会」(10/20)を行いました。

先日9月30日(金)は、全校児童と地域、保護者の方を招いて「いのちの学習」を行いました。まず、夏休みに令和2年熊本豪雨災害があった人吉・球磨地域へ被災地訪問をした子ども達から、報告会がありました。想定を超えた災害の凄さや復興に向けまちを上げての取組が伝えられました。

次に各クラスの代表グループから、災害に備える取組や災害発生時の行動、避難所での過ごし方など全児童に向けて災害に向けての正しい知識、備えの大切さを伝えてくれました。地域の方々からも「災害について子ども達がよく調べ懸命に取り組んでおり感心しました。」「改めて、災害について考えるきっかけとなりました。」と子ども達の発信から心が動いたことや災害に備える思いが高まったことなどの感想をいただきました。当日は、この学習に携わってくださった北九州市危機管理室の尾上さんや光貞市民センター福澤館長にも来ていただき、子ども達の頑張りを見ていただき価値づけしてくださいました。学び多き1時間となりました。

復旧・復興を伝える

防災減災プロジェクトの学習に当初から関わってくださっている北九州市危機管理室の尾上さんや光貞市民センター福澤館長にも来ていただき、子ども達の頑張りを見ていただき価値づけ、防災の大切さを伝えてくださいました。



地域のお世話になっている方々や保護者の方々にも来ていただきました。



令和2年熊本豪雨災害があった人吉・球磨地域へ被災地訪問をした子ども達から、報告会もこの時に全校児童に向けて行いました。



全校

避難訓練 (学校行事) 3 学期特別活動 / 地震による避難訓練と不審者侵入による確認

ねらい：避難訓練前に地震による災害についての基本的な知識を身に付けるとともに、実際の災害場面を想定した避難訓練を通して安全な避難の仕方と避難経路を理解する。

ねらい：不審者侵入の際の安全な身の守り方と避難の仕方を理解する。

「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に避難する



地震が発生したら、学校の中ではどのような危険がひそんでいるか、身を守るためにどうするのかを考えました。



災害発生時の行動、正しい知識により、自分の命を守る。

秘密のキーワードを聞いた ら、まずは、身を守る行動を



不審者から身を守るための確認を全児童と確認しました。

地震から身を守る / 学校行事 1 時間

地震の危険から身を守る

3 学期の避難訓練は、地震による避難訓練を行いました。東日本大震災のような大地震の際、学校の中ではどのような危険がひそんでいるかについてワークシートを使って全校児童が考えました。

図書室や教室、体育館など様々な施設での危険を予測しました。頭の上に落ちてくる危険や窓ガラスが割れる危険、室内に閉じ込められる危険など、大地震による被害は大きいと感じました。ワークシートで見つけた危険な場面では、どのように身を守るかも考えていきました。ワークシートの答え合わせでは、「やっぱり、本は落ちてくるから危険だと思った。」「頭の上の照明も危ないな。上にある物は、危険だな。」とどのような危険があるのか、どのように身を守るかを真剣に考えていました。その後、運動場へ実際に避難しました。



地震発生時、どのような危険が考えられるのか

どのように身を守るのかを考えました。

不審者から身を守る ~秘密のキーワード~

不審者は、いつ侵入するかわかりません。そこで、不審者が侵入した場合の秘密のキーワード「〇〇〇を〇〇に〇〇しました」を全校児童と確認しました。

また、不審者から身を守るためには、どこへ避難するかを確認しました。そして、不審者から避難した場所では、安全を知らせる全校放送を自分の耳で聞くまでは、室内の鍵を閉め、窓から姿が見えないように低い姿勢で待機するように確認しました。不審者から身を守る大事な時間となりました。

※秘密のキーワードは、お子様に聞いてみてください。光貞小の子どもたちは全員が知っています。